



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 武蔵野興業株式会社

コード番号 9635 URL <http://www.musashino-k.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 河野 義勝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 山崎 雄司

TEL 03-3352-1439

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	810	4.8	58	376.1	61	135.0	56	128.2
26年3月期第2四半期	772	3.9	12	△84.0	26	△62.9	24	△29.8

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 57百万円 (128.7%) 26年3月期第2四半期 25百万円 (△28.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	5.42	—
26年3月期第2四半期	2.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	6,074	3,137	3,137	3,137	51.6	299.68
26年3月期	6,129	3,080	3,080	3,080	50.3	294.21

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,137百万円 26年3月期 3,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,575	0.9	100	33.3	80	△20.3	70	△35.1	6.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	10,500,000 株	26年3月期	10,500,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	31,337 株	26年3月期	30,829 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	10,469,000 株	26年3月期2Q	10,469,212 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が薄れつつあり、緩やかな回復基調が続いてはいるものの、小売業や個人サービスに関連した業種など非製造業の景況に停滞感があり、引き続き注意深く動向を見守っていく必要があるものと思われまます。このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、映画事業部門は個性ある話題作を上映することで、殊に新宿武蔵野館では多くの作品が好稼働し、セグメント利益を計上することが出来ました。不動産事業部門は、賃貸部門において主要テナントビルの状況に変化はなく、営業成績は堅調に推移いたしました。自動車教習事業部門は、例年、自動車運転免許の取得需要が減少に向かう時期となりますが、一方で修繕費等営業費用は減少いたしました。その結果、全体として売上高は8億1千百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益は主に映画事業部門の業績が堅調に推移したこともあり5千8百万円(前年同期比376.1%増)、経常利益は6千1百万円(前年同期比135.0%増)、四半期純利益は5千6百万円(前年同期比128.2%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント情報ごとの業績の状況は以下の通りであります。

(「生産、受注及び販売の状況」については、当社は映画興行や不動産賃貸業を中心に業態を形成しており、受注・販売形式の営業活動は行っておりません。販売の状況については、下記に示したセグメント情報ごとの業績の状況をご参照ください。)

(映画事業部門)

「新宿武蔵野館」「シネマカリテ」それぞれの映画館において、前評判の高い話題作を数多く上映し、殊に新宿武蔵野館では多くのお客様にご来館いただくことが出来ました。その結果、部門全体の売上高は3億9百万円(前年同期比24.7%増)、セグメント利益は2百万円(前年同期は1千6百万円のセグメント損失)となりました。

(不動産事業部門)

賃貸部門におきましては、主要テナントビルの賃貸状況は引き続き安定しており、営業成績は堅調に推移いたしました。販売部門は消費税率引き上げ後の市況を見守りながらも具体的な営業成績の計上には至らず、部門全体の売上高は2億6千9百万円(前年同期比2.5%増)、セグメント利益は1億7千万円(前年同期比5.3%増)となりました。

(自動車教習事業部門)

学生の卒業・就職シーズンに係る繁忙期が終わり、新規教習生の獲得が難しい時期となりましたが、部門全体の売上高は1億6千5百万円(前年同期比7.6%減)、セグメント利益は修繕費、減価償却費の減少もあり1千8百万円(前年同期比1,243.5%増)となりました。

(商事事業部門)

東京都目黒区において経営委託している飲食店の売上は、消費税率引き上げ後の消費動向も落ち着きつつあり堅調に推移したものの、一方で住宅資材の売上は伸び悩み、部門全体の売上高は5千3百万円(前年同期比23.6%減)、セグメント利益は2百万円(前年同期比42.4%減)となりました。

(その他)

主としてマクミラン・アリスの著作権料収入や自販機手数料等ではありますが、全体として売上高は1千1百万円(前年同期比3.2%減)、セグメント利益は3百万円(前年同期比7.8%減)となりました。

※ スポーツ・レジャー事業部門は営業中止中であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、有利子負債の返済を主な理由とした流動性預金の減少があったことなどから、前連結会計年度末に比べ5千5百万円減の60億7千4百万円となりました。

負債合計は、有利子負債の返済を進めたことなどから、前連結会計年度末に比べ1億1千2百万円減の29億3千7百万円となりました。

純資産合計は、四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ5千7百万円増の31億3千7百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、当第2四半期連結累計期間に、営業活動において5千9百万円の資金を得て、投資活動において2億3千7百万円、財務活動において1億1千万円の資金を使用した結果、前第2四半期連結会計期間末に比べ、2億6千2百万円減少の7億6千3百万円（前年同期比25.6%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

〈営業活動によるキャッシュ・フロー〉

営業活動によって得られた資金は、税金等調整前四半期純利益6千1百万円、減価償却費3千9百万円があった一方、仮払金等その他の流動資産の増加3千万円があったこと等により、5千9百万円（前年同期比23.5%増）となりました。

〈投資活動によるキャッシュ・フロー〉

投資活動によって使用した資金は、有形固定資産の売却による収入2百万円があった一方、有形固定資産の取得による支出1億6千6百万円、投資有価証券の取得による支出7千万円等があり、2億3千7百万円（前年同期は2千1百万円の支出）となりました。

〈財務活動によるキャッシュ・フロー〉

財務活動によって使用した資金は、長期借入金の返済による支出1億1百万円、リース債務の返済による支出8百万円等があり、1億1千万円（前年同期は1億1千1百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年11月6日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」に掲載した数値を記載しております。

当第2四半期連結累計期間において、映画事業が予想を上回る営業成績を収めることが出来たことを主な理由とし、平成26年5月14日に公表した平成27年3月期通期連結業績予想を一部修正しております。詳しくは上述の資料「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,051,357	763,418
受取手形及び売掛金	43,279	40,948
たな卸資産	1,168	959
繰延税金資産	18,500	18,500
その他	49,490	78,780
貸倒引当金	△372	△359
流動資産合計	1,163,423	902,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	577,034	560,311
機械装置及び運搬具（純額）	7,232	10,797
工具、器具及び備品（純額）	30,245	29,223
土地	3,776,428	3,927,159
リース資産（純額）	76,819	68,060
有形固定資産合計	4,467,760	4,595,551
無形固定資産		
借地権	67,260	67,260
その他	12,041	10,955
無形固定資産合計	79,301	78,215
投資その他の資産		
投資有価証券	315,481	392,061
長期貸付金	1,760	1,760
敷金及び保証金	66,924	66,924
その他	41,026	43,904
貸倒引当金	△6,277	△6,277
投資その他の資産合計	418,915	498,373
固定資産合計	4,965,977	5,172,140
資産合計	6,129,401	6,074,388

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	90,496	90,232
短期借入金	203,516	203,516
リース債務	17,519	17,519
未払法人税等	7,934	6,018
賞与引当金	11,896	12,206
その他	170,694	166,549
流動負債合計	502,057	496,043
固定負債		
長期借入金	484,066	382,308
リース債務	59,300	50,540
役員退職慰労引当金	15,816	15,816
退職給付に係る負債	119,406	123,563
長期預り敷金	604,089	604,089
再評価に係る繰延税金負債	1,259,617	1,259,617
その他	4,865	5,143
固定負債合計	2,547,161	2,441,079
負債合計	3,049,219	2,937,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,500	1,004,500
利益剰余金	△192,686	△135,905
自己株式	△7,373	△7,483
株主資本合計	804,440	861,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,078	1,491
土地再評価差額金	2,274,663	2,274,663
その他の包括利益累計額合計	2,275,741	2,276,154
純資産合計	3,080,181	3,137,265
負債純資産合計	6,129,401	6,074,388

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	772,910	810,034
売上原価	408,163	425,910
売上総利益	364,747	384,123
販売費及び一般管理費	352,384	325,263
営業利益	12,362	58,860
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,857	1,446
持分法による投資利益	1,123	6,068
貸倒引当金戻入額	22,500	—
その他	101	2,075
営業外収益合計	25,581	9,589
営業外費用		
支払利息	8,584	6,019
その他	3,260	1,088
営業外費用合計	11,845	7,108
経常利益	26,099	61,341
税金等調整前四半期純利益	26,099	61,341
法人税、住民税及び事業税	1,215	4,560
法人税等合計	1,215	4,560
少数株主損益調整前四半期純利益	24,884	56,780
四半期純利益	24,884	56,780

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	24,884	56,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122	413
その他の包括利益合計	122	413
四半期包括利益	25,007	57,194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,007	57,194

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	26,099	61,341
減価償却費	66,835	39,117
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△22,533	△12
受取利息及び受取配当金	△1,857	△1,446
支払利息	8,584	6,019
持分法による投資損益 (△は益)	△1,123	△6,068
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,251	2,331
たな卸資産の増減額 (△は増加)	171	208
仕入債務の増減額 (△は減少)	△410	△264
その他	△17,304	△30,287
小計	57,210	70,939
利息及び配当金の受取額	1,857	1,446
利息の支払額	△8,035	△6,025
法人税等の支払額	△2,541	△6,476
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,491	59,884
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35,537	△166,511
有形固定資産の売却による収入	—	2,062
無形固定資産の取得による支出	△1,825	—
投資有価証券の取得による支出	△4,500	△70,000
ゴルフ会員権の退会による収入	22,500	—
その他	△1,757	△2,747
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,119	△237,195
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	130,000	—
長期借入金の返済による支出	△233,106	△101,758
リース債務の返済による支出	△8,820	△8,759
自己株式の取得による支出	△10	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,937	△110,628
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△84,565	△287,939
現金及び現金同等物の期首残高	1,110,668	1,051,357
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,026,103	763,418

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	248,318	262,589	179,564	70,165	760,637	12,272	772,910
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	35,208	—	—	35,208	—	35,208
計	248,318	297,798	179,564	70,165	795,846	12,272	808,119
セグメント利益又は損失(△)	△16,583	161,803	1,402	4,976	151,599	4,302	155,901

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、版權事業その他であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	151,599
「その他」の区分の利益	4,302
セグメント間取引消去	49
全社費用(注)	△143,588
四半期連結損益計算書の営業利益	12,362

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	309,676	269,024	165,883	53,571	798,155	11,878	810,034
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	35,208	—	—	35,208	—	35,208
計	309,676	304,233	165,883	53,571	833,364	11,878	845,242
セグメント利益	2,894	170,387	18,836	2,868	194,987	3,968	198,956

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、著作権事業その他であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	194,987
「その他」の区分の利益	3,968
セグメント間取引消去	301
全社費用(注)	△140,397
四半期連結損益計算書の営業利益	58,860

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、新たに不動産に係る信託受益権を取得したことに伴い、不動産事業のセグメント資産が152,714百万円増加しております。